

事務事業 No./名称	■サービス部門 生涯-03 □支援部門		明月荘管理運営事業				
主管課	生涯学習課(鎌倉生涯学習センター) 関連課						
分野名	生涯学習						
目標(目標値)	なし						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	事業の対象者数	852人	2,054人	1,685人			
事業の対象者数	852人	2,054人	1,685人				
運営資源状況	決算値(千円)	956	2,430	2,853			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	956	2,430	2,853			
	人員配置数	0.2	0.2	0.2			
	人件費(千円)	1,750	1,781	1,796			
	協働のパートナー	鎌倉市生涯学習推進委員会	鎌倉市生涯学習推進委員会	鎌倉市生涯学習推進委員会			
事務事業運営経費	総事業費(千円)	2,706	4,211	4,649			
	市民1人当りの経費(円)	15	24	26			
	対象者1人当りの経費(円)	3,176	2,050	2,759			
	対象者1人当りの経費(円)	3,176	2,050	2,759			
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
利用者人数	◎	目標値	3,000人	700人	0人	0人	0人
		実績値	2,054人	852人			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。											
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。											
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止											
明月荘管理運営事業(165)	956千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	□A	□B	□C	□D	■E
	事業の概要	明月荘の維持管理及び施設貸出業務。なお、県から借用していたが当該施設の老朽化が著しいため、平成22年7月31日をもって供用を中止した。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	県から老朽化が著しく利用者の安全確保ができないため、平成22年度以降の目的外使用許可は行わない旨の方針が示されたため、利用者への周知期間を設け、平成22年7月31日まで目的外使用許可期限を延長し供用を中止した。
課題解決のための取組	職員が庭園の草刈りや建物の見回りを行い、美観の保持に努めた。平成22年7月31日をもって供用を中止した。
未解決の課題	なし
今後の方針	今後の活用方針等については、県と本市の関係課で構成された「明月荘検討会議」において周辺の緑地を含め協議を重ねていく。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ E ※ □事業完了 課長名 鈴木 郁雄

